



2019年度向け 新U-13ジュニアユース練習会ご参加者様へ！！

「東京ヴェルディ・相模原支部」は“「人間教育」の重要性、優れた選手＝人材を育てることを指針に、サッカー燃え尽き症候群を次のステップに送り込まない”という環境を作り上げてまいりました。

ジュニアユース年代においては「スピード・身体能力差など最も大きい年代」ですが高校生ユース年代になるとその差が殆どなくなります。私共は長い目で子供たちを見続けております。

その成果により、相模原支部U-15ジュニアユースから相模原支部ユースチームはじめ VERDY ユース・高校サッカー選手権を経て現在まで、プロ・Jリーガー(16名)を輩出してまいりました。

① 6つの心 ②技術テクニク ③身体…「心技体」の育成をベースに、たとえプロサッカー選手に成れなくても社会の中でしっかり自分で判断することなどを経験しながら“夢を持って”生きてゆけるような人間育成を第一に考えております。

「明るい心・素直な心・反省の心・感謝の心・謙虚な心・尊重の心」

この6つ心は人間が生き抜いてゆくうえで、忘れてはならない「大事な心」だと強調します。

今年度は6月2日にユースチーム卒業生(横倉選手)がドイツへのプロチャレンジにて出発。すでに現在、「BSC Berlin、ベルリンリーグ6部・Berliner Sports Club」入団決定により7月28日に移籍承諾書にて移籍が決定。“夢に向かってユース卒業生が日本を経ちました！”

私たちは、1999年 支部発足から初心を大切にプロアスリートへの過程の中で少年たちが夢を持てるよう最良の環境を与えられるよう実践努力しています。

そんな過程の中で相模原支部ジュニアスクール～ジュニアユース～VERDY ユース～を経てプロで活躍する多くの選手をはじめ、ジュニア3年～U-15まで6年間も指導在籍し VERDY ユースで活躍した「俳優:竹内涼真」など今は芸能界で大活躍している人間も巣立っております。

…近々に時間があるとき「竹内涼真」がOBとして皆さんの試合を応援観戦したいと。

■進路について

☆ユースチーム過去のサッカー進路先

① 大学サッカー部への入学率は毎年90%以上の実績です。

尚美大学・明治大学・青山学院大学・中央大学・拓殖大学・日本大学・東海大学・埼玉共栄大学・松陰大学・専修大学・神奈川大学・学芸大学・上武大学・その他。

進路においては、過去の事例をいくつか挙げます。

- a. 関東リーグ所属の強豪大学などは、U18クラブユース選手権(主にJリーグチーム)や全国高校選手権出場ベスト8以上の実績がなければ入部不可という学校規定があるようです。
- b. 付属高校から大学に進学をしてサッカー部に入部するための学内セレクションという形態をとっている大学もありますが殆どが入部出来ずと言ったことを耳にしました。
- c. また反面、入部制限がない、ある関東リーグ所属の名門大学などは部員が300人ですが、レギュラークラスは入学した時点で振り分けられて TR は別途時間帯で専門指導者が就かずに選手のみで行ってというような大学もあるようです。
- d. 高校サッカーへ入部したが、実際はサッカー出来ない状態だったり、サッカーのプレーに対して決め事が多く悩んだ末クラブに戻って来た選手、又は退部してしまい、それ以降サッカーをやめてしまった声も聞きました。

過去、中学3年時にそういった付属の高校等などを選択して結果その上の付属大学サッカー部への入団が出来なかったという事例が多々ありました。

重要なことはサッカー選手としての”夢・志”が持てるような環境に自分を置くことではないでしょうか。

② 海外プロチャレンジへのサポートは??

- ヨーロッパ=ドイツ・フランスはじめその他各国
- 南米=ブラジル・アルゼンチンはじめその他各国

6月2日にユース卒業してドイツ渡った GK 横倉嗣竜君は45年間ドイツ在住の親友(ドイツ公認コーチ・代理人資格取得者)が語学学校へ実費入学させ横倉君のレベルに合わせ適したチームへ入団させるというものです。横倉にも伝えましたが「18歳と言った若さで世界に目を向けることの方が大きな財産を得るのではないかな。実際にはブンデスリーガーを目指し、言葉も覚えられる。」・・・横倉君は両親の理解を得て一度しかない人生に向かってドイツに旅立ったのです。横倉君がドイツへ旅立つと並行してブラジルサンパウロ州・プロリーグ“イツアーノ FC”から22才の笠原君が帰国。8月中旬には“読売クラブ OB”でやはり45年間の親友が運営代表する社会人の関東二部リーグに入団決定して8月下旬に荷をまとめて茨城県へ引っ越し・・・プロ選手を目指しながら大手運輸会社への就職も決まりました。

日本の学校が「ロンドン」に高校を設立しています。すでに相模原支部からも1名が卒業いたしました。

☆ジュニアユースの三者面談・進路相談などを経て能力に応じレベルにあった進路もサポート致しております。最初にクラブから巣立っていったOBはもう42歳になります。今まで何百人ものOBたちが世の中に出て其々の仕事や、趣味で活躍しております。「会社員・公務員・学校の先生・会社経営はじめサッカー指導者など多種多様な世界」の中で生きている多くのOBたちから聞かれる共通の言葉は「原点はヴェルさがの心」だと嬉しいことを言われるようになりました。それも歴史だとOBたちに感謝しております。

■河野 広貴



1998年～2001年 ヴェルディ相模原ジュニアスクール
 2002年～2004年 ヴェルディ相模原ジュニアユース
 2005年～2007年 東京ヴェルディユース(※2007年シーズン東京ヴェルディにて2種登録)
 2008年～2011年 東京ヴェルディ
 2012年～2017年8月 FC東京

【代表歴】

U-15 日本代表候補
 U-16 日本代表
 AFC U-17 選手権 2006 - 優勝 (4 試合 2 得点)
 U-17 日本代表
 コパ・チーバス
 国際ユースサッカーin新潟 (チーム事情により離脱)
 2007 FIFA U-17 ワールドカップ - グループリーグ敗退 (3 試合 1 得点)
 U-19 日本代表
 第6回仙台カップ国際ユースサッカー大会 - 2位 (3 試合 1 得点)
 AFC U-19 選手権 2008 - 準々決勝敗退 (3 試合 0 得点)
 U-20 日本代表
 カタール国際ユーストーナメント 2009 - 3位 (4 試合 1 得点)

■山形(FW)として活躍中！！

竹内涼真君と一緒に VERDY ユースへ同期で昇格！

OBの南選手からメッセージ SHUTO Minami

南 秀仁 選手

神奈川県出身 1993年生まれ

[プロフィールを見る](#)

S.S.相模原から東京ヴェルディユースを経て、トップチームへ。

ヴェルディ相模原はとにかく“熱い”チームです。

ピッチ内外問わずチームメイト皆で支えあい、とにかく全てにおいて“攻める”事をポイントに、突破にこだわり続けた3年間を過ごしました。

中学1年生の時の県大会準決勝で「横浜Fマリノス」に勝った時は本当に嬉しかった！今でも良い思い出です。

プロ選手としてJリーグのピッチに立たせて貰う様になり、やはり個人で突破が出来ない選手は厳しいという事を、身を持って体験しました。

あらためて中学年代にヴェルディ相模原で、個人技やワンツートを鍛えて貰った事が今自分がリーガーとして生きている事に繋がっていると実感しています。



Photo
S.S.相模原スクール時代の南秀仁選手

南 秀仁

【獲得タイトル】 東京ヴェルディユース

2010年 第34回日本クラブユースサッカー選手権 (U-18)大会 優勝

2010年 第15回東京都サッカートーナメント 優勝

2011年 第35回日本クラブユースサッカー選手権 (U-18)大会 優勝

2011年 第35回日本クラブユースサッカー選手権 (U-18)大会 得点王

【代表歴】

U-18 日本代表

AFC U-19 選手権 2012 (予選)

U-19 日本代表

U-20 日本代表